

# 大阪人権博物館（リバティおおさか）が 12月4日にリニューアルオープンしました



大阪人権博物館は、1985年12月に同和問題をはじめ、人権に関する歴史的資料を収集・保存、展示する「大阪人権歴史資料館」として開館し、1995年12月に「大阪人権博物館」と改称するとともに展示・施設内容を拡充しました。

このたび、新たな人権課題に対応し「人権の世紀」を希求する時代の要請に応えるため、常設展示室の拡張・充実、休憩コーナーの設置など装いも新たにリニューアルオープンしました。

## 総合展示の概要

### 統一テーマ 私が向きあう日本社会の差別と人権

私たちが生活している日本社会には、さまざまな差別や人権に関わる問題が存在しています。差別と人権に関わる問題は、社会のあり方と深く関係し、生きていくうえで誰もが直面せざるを得ない課題を投げかけています。この総合展示は、私たちが自分自身を見つめ、日本社会の差別と人権に向きあっていこうとするものです。

### コーナー1 人権の現在

人権は、すべての人が生まれながらもっている権利であるとされています。しかし、それを認められなかった人びとが闘いによって具体的な権利として獲得してきました。さまざまな人権や権利は、私たちの生活にどのような役割を果たしているのでしょうか。

### コーナー2 私の価値観と差別

私たちは、さまざまな価値観をもって生きています。価値観は、生きていくうえでの拠りどころとなっています。

また、差別としてあらわれることもあります。現代に生きる私たちの価値観は、どのように生きる力となっているのでしょうか。そして、いかに差別と関係しているのでしょうか。

### コーナー3 差別を受けている人の主張と活動

差別を受けている人は、多様な主張をもちながら生活しています。ここでは、差別を受けている人が担ってきた運動や産業、つちかってきた文化、さまざまな主張をとりあげています。それらの活動や主張は、私たちに何を問いかけているのでしょうか。

### コーナー4 私にとっての差別と人権

差別と人権の問題に関わるのは、差別を受けている人だけではありません。すべての人が教育や労働、生活の場などで、差別や人権の問題に関わっています。さまざまな人の語りから、私たちは差別と人権の問題にどのように向きあっていくことができるのでしょうか。

## 大阪人権博物館（リバティおおさか）のご案内

**開館時間** 午前10時～午後5時（入館は4時30分まで）  
**休館日** 毎週月曜日（祝日除く）、祝日の翌日、第4金曜日、年末年始  
**入館料** 大人250円  
 大学・高校生150円  
 （20人以上団体割引大人200円 大学・高校生100円）  
**特別展示開催時** 大人500円  
 大学・高校生300円  
 （20人以上団体割引大人400円 大学・高校生200円）  
 ※中学生以下・65歳以上・障害のある人（介助者含む）は無料  
 ※人権週間（12月4日～12月10日）は無料  
**交通** JR環状線「芦原橋」駅下車南へ約600m  
**問合せ先** 大阪人権博物館（リバティおおさか）  
 大阪市浪速区浪速西3-6-36  
 電話：06-6561-5891 FAX：06-6561-5995

## リニューアル記念事業

### 第57回特別展 「部落問題に向きあった100人」

会期：2005年12月4日（日）～  
 2006年2月12日（日）  
 会場：大阪人権博物館 特別展示室

「改善」「水平」「融和」「解放」「人間」の5つをキーワードに、近代から現代にかけて部落差別の撤廃や解放に取り組んだ人物を代表的な100人にしぼって紹介し、どのように私たちが部落問題に向きあっているのかを考えようとするものです。